

鹿ノ台川柳教室 十月度句会

十月十五日(月) 西集会所

席題 お題「油」

橘 正清選

涼しい顔で実は掻いてる油汗
アラブの春昔話となり果てて
油ぎってた昔が今じゃ懐かしい
不満などないかのごとくアラブ人
火に油夫婦喧嘩に燃えてます
油ぬきいつの頃よりすつきりと
かくものは油絵または油汗
若い日の油も抜けて自然体
軽いウソ方便であり潤滑油
油売りどこで油を売ってるの
喧嘩していらぬ節介火に油
倭恥をかくことも生き甲斐油汗
倭女狐に油げ持って頼み事
軸憎しみと妬みは人の潤滑油

義雄
千楽

張り上げた拳が我慢強くする
連れ添って歩幅の違い思い知る
アジアパラ関心減るもメダル増え
秀腹式でス〜と吐きだすストレスも
軸朝夕に数独しては墓穴掘る

勝利
広子
幸男
幸男
えいじ

宿題 自由吟(共選)

奥村義雄選

乃り子
登美
幸男
えいじ
充
哲子
よし尚
春代
よう子
勝利
広子
正清

人心も背負い走った逃亡者
傘寿すぎ皆まるくなる同期会
ハネムーン夢じゃなくなる月旅行
パソコンを閉じて無心で月を見る
名月がだんごすすきを探してる
観月にうさぎ狩りするスナイパー
連れ添って歩幅の違い思い知る
夜の読書心の綾を解きほぐす
腹式でス〜と吐きだすストレスも
倭国を憂いて乱層雲に届く
軸この秋もシャンソン枯葉にうらぶれる

宿題 お題「歴史」(連記)

坪田登美選

めしよりも歴史小説はまってる
ジャニーズが主役になって竜馬伸び
日本史の真髓迫る神頼り
歴史本積んどくだけで重みあり
分岐点選んで生きて今がある
なっちゃったテレビ見過ぎで歴史家に
歴史書は敗者の皮を引っぺがす
城下町平和な今も生きてます
朝火ぶた夕に決着関ヶ原
歴史から過去を学んで今日を生き
積み方の悪い歴史は覆る
空腹に耐えた昭和のやせ蛙
秀苔むして歴史見てきた石畳
軸いつの世も語りつがれる戦争禍

えいじ
乃り子
勝利
幸男
よし尚
充
正清
哲子
千楽
アキラ
義雄
よう子
春代
登美

②ラブソング人生そんな甘くない
衰えて酸いも甘いもわからない
甘過ぎた子育て親に砂かける
テストすり抜けて車が闊歩する
③顔見えぬ悪魔が食べる甘い汁
大丈夫より先に逝けるから
④年ごとに甘味濃くなる義母の味
手慣れという甘さに怖い落し穴
⑤凝りもせず甘い言葉にすぐ靡く
端っから見すかされてる甘い脇
連れ合いの留守は互いに蜜の味
甘い親もう子のかじるすねもない
得をする筈の話で損をする
⑦一瞬の甘さが招く負け戦
甘い汁吸って築いた伏魔殿
片目閉じ決めた伴侶と半世紀
⑧鳥巢立つ甘え許さぬ親の愛
⑨秀甘い汁吸って晩年苦い汁

宿題 自由吟(共選)

森里えいじ選

補聴器外しても雑音目に入る
意地張って支え切れない骨密度
観月にうさぎ狩りするスナイパー
ハネムーン夢じゃなくなる月旅行
人心も背負い走った逃亡者
夜の読書心の綾を解きほぐす

よう子
勝利
正清
乃り子
哲子
よう子

*義雄さんが四か月ぶりに元気に顔を見せ、
早速自由吟の選者を務めて下さった
秀句、なぜか女性軍が(相変わらず)優勢。

登美
千楽
勝利
登美
義雄
春代
広子
勝利
よう子
春代
アキラ
哲子
千楽
乃り子

奮起に遠慮せず、男性軍（千）。*

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句

(九月十八日〜十月十四日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選

九月二十七日 題「傷」

過信から低温火傷してしまう

よう子

お互いに傷をなめ合うカウンター

英二

十月十一日 題「甘え」

甘えたら鬼が仏になりました

義雄

毎日新聞 山田順啓選

九月二十日 題「遊ぶ」

いい年に夢中となつて夜が明ける

正清

ランプの宿ころ遊ばすひとり酒

よう子

呼びに来たママもブランコ少しだけ

アキラ

九月二十七日 題「ライバル」

ライバルが呉れた生甲斐宝物

勝利

十月四日 題「学校」

学校が全てでないと言う教師

幸男

十月十一日 題「トンネル」

トンネルの先に広がる夢を見る

幸男

読売新聞 阪本高士選

九月二十三日 題「底」

底抜けの明るさぼつくりと沈む

正清

九月三十日 題「乗る」

高速バス客三人のよもすがら

正清

サーファーも時代の波に乗り遅れ

幸男

十月七日 題「火花」

スパークをして燃えかすの鬼火たつ

正清

十月十四日 題「濡れる」

サバンの雨季に空腹の雄叫び

正清

春の雨しつぽり濡れる一人きり

幸男

奈良新聞 居谷真理子選

九月十九日 題「突然」

エアコンも休みをくれとストライキ

よう子

十年ぶり友の電話の声低く

英二

慌て者たまに役立つ緊急時

幸男

九月二十六日 題「買う」

一人分買えば足りず老い二人

アキラ

十月三日 題「波」

べた風の人生小石投げてみる

英二

大波小波歳月をかけ岩砕く

アキラ

遠い国より波に乗つてのゴミの旅
よう子
十月十日 題「いろいろ」

一杯のコップ酒では足りぬ愚痴
アキラ

乱れ飛ぶ噂さに耳が忙しい
よう子

甘い汁色んなわなが待機中
正清

人生いろいろの歌の通りのクラス会
英二

奈良新聞 自由吟

九月二十日 米田恭昌選

サングラス揺れる心を潜ませる
よう子

泥にどつぷりの記憶手繰り寄せる
正清

大盛が小さくなつた物価高
アキラ

白髪を意地でも染めぬ丸坊主
幸男

十月十一日 大楠紀子選

騒乱罪抵触をする大落雁
正清

五欲捨て優しい顔になつてゆく
よう子

彼岸花に急ぎ立てられて墓参り
アキラ

はいれます老人会は百寿から
幸男

* 橘正清、林勝利、前田幸男、

三氏は各紙の短歌俳句でも活躍

次回 十一月十九日、十二時十五分開場、西集会所

宿題は「若い」、「落ち葉」、「自由吟」 各二句

* 席題選者 正清 十二時三十分「お題」発表

* 「落ち葉」(連記) 選者 哲子

* 「自由吟」(共選) 選者 英二 よし尚

* 「若い」(互選)

出句、宿題・席題 とも十三時

自治連合会公認クラブとして活動

「ご自分の生活を、思うことを、五七五に

句会のご見学、ご入会大歓迎、

会費一ヶ月百円です

自治連合会ホームページに句会内容掲載中

問合せ

原 広子 (79・0061)

野々村詮 (090・6961・1292)

お気軽にどうぞ